

熊本県青年会館開館20年のあゆみ (概要)

- 昭和58年 4月24日 長年の念願であった熊本県青年会館が完成し、落成式を挙げる。
- 6月29日 全国青年会館協議会定例会を当会館にて開催する。
- 7月 2日 県青年団女子研修会の当会館での開催をスタートさせる。
～ 3日
- 23日 県青年団活動家研修会をスタートさせる。
～24日
- 昭和59年 1月20日 県青年問題研究集会の当会館での開催をスタートさせる。
～22日
- 1月21日 熊本の明日を拓く地域づくりシンポジウムを開催する。
- 3月 4日 「青年会館だより」の創刊号を発刊する。
- 3月 5日 会館運営協議会を開催し、県内各界の代表の意見を賜る。
- 4月15日 青年団による建設募金目標額の1億円が達成となる。
- 9月 4日 青年問題調査研究会を開催し、青年の問題を調査研究していく契機とした。
- 10月16日 地域づくりセミナーをスタートさせ、第1回として日本一づくりについて学習する。以後25回を重ねる。
- 11月18日 第1回青年会館青空市場即売会の開催。
- 昭和60年 8月24日 結婚相談事業検討委員会の設置を行い、青年の結婚相談について審議を重ねる。
- 10月27日 中国青年訪日友好の船代表団(45名)熊本県への受け入れを行う。
- 昭和61年 4月 2日 熊本県青年友好訪中代表団(9名)を中国へ派遣する。
- 5月 1日 マイクロバス1号車の購入。
- 7月27日 青年の結婚問題対策として出逢い交流(バスツアー)、若人の船(洋上ツアー)の開催を行う。
- 昭和62年 4月18日 青年の結婚問題対策として、「むらの結婚フォーラム」を開催する。
- 8月22日 理事研修会実施とともに会館運営検討委員会を発足させ、運営を充実させる。
- 7月25日 農業問題懇談会をスタートさせ、熊本の農業について検討を重ねる。
- 3月 6日 会館運営第2次5ヶ年計画を決定し、収益事業及び公益事業の充実を図る。

- 昭和63年 4月 1日 青年問題研究会の中間報告書を発行する。
- 4月29日 オープン5周年記念式典を挙げる。
- 8月26日 青年国内研修をスタートさせ、第1回として岡山県を訪問する。
~28日
- 9月27日 東南アジア熊本青年視察団の派遣（タイ他）。以後、タイを中心として両国青年の相互交流を行う。
- 10月 1日 県内青年団実態6調査および県内青年の意識調査を実施する。
~27日
- 平成元年 4月10日 県内ブロック懇談会の開催により、関係者との意見交流を深め、組織強化を図る。
- 平成2年 4月 1日 マイクロバス2号車の購入。
- 5月 1日 熊本県青年問題研究会の第1次報告書を発行する。
- 3月31日 オープン以来8年目にして、公益事業を含め、初めて単年度黒字の決算となる。
- 平成3年 4月 1日 熊本県青年問題研究会、第2次報告書を発行する。
- 平成4年 3月 2日 熊本県青年団史編纂のための懇談会を開催し、編纂を実動させる。
- 5月24日 食堂およびロビーの改装を行う。
- 8月10日 故三角了前理事長の会館葬を実施する。
- 8月18日 内田憲雄が（財）熊本県青年会館理事長に就任。
- 10月 1日 深田村との土地賃借契約の締結（熊本県青年会館分館建設用地）
- 平成5年 2月14日 熊本県青年会館分館が、球磨郡深田村に完成。（球磨郡青年会館）
木造瓦葺平屋 224m²
球磨郡青年団協議会との使用賃借契約を締結する。
- 3月 6日 委員会審議を重ね、理事会にて、会館運営第3次5ヶ年計画を決定し、会館増築等へ向けた推進を行うこととなる。
- 4月20日 2階ホール音響設備を改修する。
- 4月24日 オープン10周年記念式典を挙げる。
- 7月 2日 県青年団運動史編纂委員会を設置し、県青年団運動史編纂を充実。
- 10月19日 県青年団史編纂作業委員会設置。
- 平成6年 8月 8日 会館2階ホール全体を改修する。
- 10月 6日 青年問題研究会を設置し、青年団、青年団体活動の実態と課題分析を開始する。
- 平成7年 7月 県下青年団実態調査、青年グループへのヒヤリング実施。

- 平成8年 3月31日 青年関係書の発刊
 ・県下青年団実態調査、青年団員意識調査報告書
 ・青年グループヒヤリング結果報告書
 ・熊本県青年問題研究会報告書
 ・青年団リーダーの手引き「21世紀への青年団運動」
- 5月20日 館内事務・設備機器を整備する。
 会館外壁改修工事を行う。
- 9月10日 ヨーロッパ青年団体活動視察訪問 3名派遣
 ~23日
- 2月 8日 熊本県青年団発足50周年記念式典を挙げる。
 熊本県青年団運動史出版祝賀会
 ・熊本県青年団運動史の発刊
 「熊本の青年団運動」一戦後50年の歩み—
 ※熊本県青年会館の建設運動及び(財)熊本県青年会館の歩みを掲載。
- 平成9年 10月 1日 会館のホームページを開設する。
- 11月29日 球磨郡青年会館での役員研修を行う。
- 平成10年 2月12日 会館運営第4次5ヶ年計画を決定する。
- 5月 1日 会館屋根防水工事を行う。
- 10月 1日 ユースホステル施設として登録。日本ユースホステル協会に加盟。
- 平成11年 3月 7日 国際理解作文コンクールの共催をスタート(留学生部門を担当)。
- 5月 1日 視聴覚機器・机・椅子・パソコンシステムを整備する。
- 平成12年 5月 1日 空調設備(熱源設備の交換)を改修する。
- 5月14日 熊本担い手養成の、「21世紀青年リーダー塾」を開催スタートさせる。以後10回開催中。
- 7月22日 会館将来構想策定委員会を設置する。
 収益事業委員会、公益事業委員会
- 平成13年 5月 1日 洗面所・トイレ・音響設備等を改修する。
 レストラン業務委託を終了し、レストラン直営をスタートする。
- 7月14日 「未婚男女の出逢いの会」を開催する。(第2回12月23日)
- 10月28日 熊本青年フォーラム(熊本新世紀フォーラム)を開催する。
- 平成14年 8月30日 内田憲雄理事長の逝去に伴い、鳥居憲太郎新理事長が就任する。
- 平成15年 3月 8日 会館将来構想、会館運営第5次5ヶ年計画を策定する。
 会館の愛称・マスコットデザインを公募の結果、決定する。
- 5月24日 会館オープン20周年記念式典を挙げる。